

平成 26 年度第 1 回 流山市環境基本計画策定部会 議事録

平成 26 年 4 月 14 日（月） 13 時 30 分開会 17 時 30 分閉会

出席委員：

吉永明弘部会長、和田登志子副部会長、新保國弘審議会会長、
秋元五郎委員、中大路早智江委員

事務局（環境政策・放射能対策課）：

染谷課長、片浦係長、遠藤副主査、小山内主事
リジオナル・プランニング・チーム（コンサルタント）1 名（内藤）

【骨子案について】

発言者	要旨
部会長	「I 計画の基本的事項」の部分について、ご意見を。
委員	計画の目的の説明で、「取り組みの指針となる基本計画として」の部分に違和感がある。何の取り組みの指針か。前回の文面のほうがわかりやすい。
事務局	実行計画レベルの 1 段上位にある基本計画という意味である。前回からの変更は基本構想将来都市像の部分で、将来像が複数並んで混乱するのを避けるためと、基本構想が期間の後半にはいつていることから割愛した。
委員	自分は「様々な取り組みの指針」と理解している。
部会長	次の位置付けの説明と被る部分もある。
委員	文が長く続いて、主語が離れすぎてわかりにくくなっている。「本計画の目的は」「本計画の位置づけは」と書き出すとはっきりする。
副部会長	文を短く「目的とします」でくくったらどうか。
事務局	環境配慮という用語について、ご意見をいただきたい。
部会長	環境配慮行動は一般的な言葉となっており、正確な言い方でよい。環境行動では漠然とする。
副部会長	環境配慮行動でぴったりと思う。
委員	都市宣言は一般に、その時の情熱で行われる性格のものと思う。流山市の健康都市宣言については、位置付けや担保するもの、上位計画がわからない。
副部会長	1 頁の健康都市宣言の文字が、2 頁でも共通して見えるような工夫がほしい。
事務局	健康都市宣言については、市のホームページに掲載している。宣言は WHO に賛同して行われ、それにより健康都市プログラムが策定され、10 年目を迎えたところである。環境分野ではグリーンチェーン戦略等が重点施策になっている。
委員	宣言の事実はよいが、実際の位置付けについて確認したい。
事務局	庁内で確認する。
部会長	「環境側面で位置付け」「健康側面で位置付け」という書き方でよいか。「側面から」では意味がかわるか。
委員	他の部門の施策に対して、後付けをするというものではないか。
委員	位置付けといわず、矢印だけでよいのではないか。
委員	生物多様性などでは学問体系に「人」が入っていないことが問題である。健康と環境はオーバーラップするところが多く、「人」が入る意味でも健康都市の考えはよいと思う。
委員	「ほか個別計画」は「等」と被る。計画をきちんと書いた方がよくないか。
事務局	景観計画などの下位の計画を割愛した。それらを全部書くとかなりの分量になる。確認、検討する。
部会長	位置付けの図の矢印について、環境基本計画の枠につながるものと、全体の大枠（点線）につながるものを違えたほうがよい。
副部会長	環境基本計画が 5 つの計画からなるようにも見える。

委員	環境基本計画と環境関連部門の計画とは、補完しあう関係ではないか。総合計画を規定する法や、環境基本計画所轄の環境省の記載もしたらどうか。
事務局	あまり書きすぎると見難くなる。基本計画を独立した表記にする。
部会長	「環境側面から位置付け」は当たり前のことなので、書かなくてもわかる。
委員	計画の進捗管理と推進の部分で、PDCAの解説が必要。
副部会長	用語解説ではなく、ここの近くにほしい。
委員	計画期間のところ、 「行うこととします」 は違和感がある。 「行います」 がよい。
副部会長	計画の対象のところも、 「分野は・・・です」 がよい。推進主体の 「施策を講じます」 はあまり使わない感じがする。
部会長	「Ⅱ 流山市の地域環境と環境政策の課題」 の部分について、ご意見を。
委員	形がすっきりして見やすくなった。
委員	自然環境のところ、主要河川はどこを指すか。全体は利根川水系ではあるが分水界があって、坂川は江戸川へ、大堀川は手賀沼へ流れており、河川管理も分かれている。 「主要河川は」 はなくてよい。
事務局	市域が利根川水系に属し、その中で江戸川流域と手賀沼流域に分かれていることがわかるよう、検討する。
委員	課題のところには、自然環境の保全に加えて再生がほしい。大堀川は再生の良い例であるし、坂川も江戸川も以前よりよくなった。 「生態系の豊かさ」 は 「生物多様性の豊かさ」 のほうがよい。生物多様性は世界で通じる用語である。 「水と緑」 は 「緑と水」 で統一を。
副部会長	ここの部分は読点が多いと感じる。
事務局	「緑と水の豊かさや生物多様性が」 とする。
事務局	5R については、廃棄物対策審議会にも話してもらうようにしている。一般廃棄物処理基本計画は中間見直しで、 3R に変えるのは難しいとの感触を担当部署からは得ている。表記方法としては、 3R+2R などの表記が考えられる。
副部会長	5R が 2 頁にすでに出現しているので、 R の説明がほしい。
委員	市街化区域面積が増えているので、過去の面積も示したい。 「都心から一番近い森のまち」 は 「具体的な」 都市イメージではない。
部会長	「Ⅲ 計画の体系、基本的な目標・施策の方向」 の部分について、ご意見を。
事務局	基本目標4の 「汚染」 という用語について、放射能のイメージが強すぎないかという懸念があり、ご意見をいただきたい。 「公害」 に替えるか、単に 「きれいな環境で」 とする方法もある。
委員	汚染には大気汚染もあり、放射能には限らない。 「汚染のない」 がないと、何がきれいなかわからない。
委員	国でも都でも、公害という用語は使わなくなっている。
部会長	「汚染のない」 としたほうが明確である。
副部会長	「きれいな」 だけでは、花を植えるなどの美化もきれいといえてしまう。
事務局	「市」 のやることは基本目標1~4に属するとして、基本目標5では市民・事業者の行動に関する内容を扱うように修正した。
部会長	望ましい環境像について、ご意見を。
事務局	前のご意見から、流山の始まりの風早荘八木郷についてふれてみたが、さらに解説が必要とも考えている。
委員	「【解説】」 の表記はいらぬ。
部会長	「4百年前」 は 「400年前」 に。
副部会長	囲みの枠の形に統一感がほしい。写真の横の余白はないほうがよい。
委員	八木郷は意味がよくわからない。
委員	自分もよくわからない。
委員	八木郷のところはなくてよい。江戸時代あたりから、明治、大正、昭和、平成にかけて描けばよさそうである。

副部長	小金牧といっしょに野馬土手のことにふれてはどうか。八木郷は、知らなかったことを学べるという意味で、間違いでなければ書いてあってもよいと思う。
委員	流山に残っているいい環境は、終戦後のものといえる。昔の写真を見ると、昭和30年頃より前、木を切って薪にしていた時代は禿山だらけだった。明治や江戸だから良い環境というものでもない。「江戸徳川幕府の時代」は「江戸時代」でよい。水田については、水の管理ができるようになって江戸川沿岸が開発され、その前は水を確保できる谷津に田を作っていたという歴史である。
委員	「中世」が平安時代のことならば、「平安時代」がよい。
部長	「また、地球の歴史が」の部分が、重要なことであるが、唐突で落ち着かない感じがするし、主語がない。現在の人たちが快適な暮らしをしているのは、歴史による地域の環境と、地球の資源によっている、ということをやうまく説明しないといけない。段落を1つ前にして、「地域づくりや環境保全に取り組んできました」からつなげる形も考えられる。
委員	流山市の原風景は、流山町ができた人口5万人程だった時期にあると思う。その頃から林業がすたれ、奨励金を出されても木を植える人がいなくなった。(注：昭和27年に江戸川町から流山町へ改称、昭和42年市制施行)。コウノトリ保護をやっている豊岡市は、昭和35年に原風景を設定している。原風景の調査をしてみるとおもしろい。台地は結構井戸を掘っていた。昭和30年頃から木を切らなくなり、水道等で衛生が良くなっている。
事務局	「また、地球の歴史が」の部分は冒頭に置いてはどうか。
部長	それならよさそうである。あとは、戦後のことが重要ということか。
委員	原風景についてはききとり調査が必要で、地形図でおえるものでもないで、そういう説があるという程度にしておきたい。昭和40年頃の生物調査をみるとすごいものがあるが、かなりなくなってしまった。
事務局	ここの部分は、策定部会や事務局がどういう考え、思いで「望ましい環境像」を決めたかの説明だと考えている。
副部長	最後の部分は、「この恩恵が受け続けられる」としてほしい。
部長	最後の段落も2つに分けるとよい。「この環境像は・・・姿を描いています。都市の・・・願ってつくられました。」
副部長	「森のまち」の解説に相当する部分があってもよい。
部長	基本目標1の部分について、ご意見を。
事務局	「オオタカ」という用語について、「多様な生きもの」等に替えた方がよいかうかがいたい。
委員	オオタカは色々なところで使われていて、区画整理で字名もおおたかになる予定である。オオタカは消せないと思う。
部長	施策の方向の中で「オオタカ」が出てこないが、それについてはどうか。
副部長	方向①に反映したらどうか。
部長	先の意見にあった保全と再生という考えを踏まえるなら、「市域の緑を保全・再生し、オオタカをはじめとする多様な生きものの生息を確保し、」とすれば反映される。
委員	「市域の緑と水、オオタカをはじめとする多様な生きものの生息環境を保全・再生し」としてほしい。オオタカがいなくなった場合でも、繁殖できる環境を再生していこうという気持ちでいる。
副部長	次の行なども保全・再生とする。
事務局	自然環境だと再生、都市環境だと創造という言い方になる。市の取り組みのところは、今回は事業名を並べていたものを、流れとして市はこうやっていくといく感じで文章化した。これから庁内調整にかける部分なので、必要なジャンルが押さえられているかというところでご意見があればうかがいたい。
副部長	この後に事業は書かれるのか。
事務局	10年の間に事業の継続がどうなるかわからないことと、予算事業でない事業名が書けないことから、事業名の記載は考えていない。

副部会長	市の取り組みの内容は素晴らしい。例えば、地産地消のシステムづくりはどのようなものか。やってもらえると生産者にはありがたい。
事務局	米飯給食による地産地消の取り組みなどがある。
コンサル	今は含みを持たせおいて、今後の庁内調整で議論される。
委員	この書き方はよい。
部会長	基本目標 2 の部分について、ご意見を。
事務局	前回に太陽と森が関係するという意見をいただいていた。10 頁の枠の中でその点にふれている。文章的にはあらい部分があり、「森のまちへの貢献」がまだわかりにくいところもある。基本目標 2 で「森のまち」とすると基本目標 1 に近くなってしまうので、基本目標は現状の案としたいがいかがか。
部会長	太陽光と森との関連は、10 頁のところでよく反映されている。「都市イメージに通じる」の部分はすごくよい。再生可能エネルギーと全体が通じる。
事務局	森のまちへの貢献が何かという点で、ご意見は。
委員	基本目標 2 の「エネルギー効率がよく」はどこにかかるのか。
コンサル	まち全体のエネルギー効率を高くしたいという意味である。
副部会長	低炭素という用語は説明には二酸化炭素を排出しないとあるのでわかるのだが、10 年間もつものなのか。子どもには炭素が悪者と伝わらないかの懸念がある。あまりよくない言葉と思っている。低 CO2 のほうが正確。
コンサル	行政の立場では、国が使用しており一般化されたものとして使いたいところである。
委員	10 頁の囲みに「緑は光合成で育つことから」とある部分は、「樹木に代表される緑は光合成によって二酸化炭素を吸収し、酸素を排出することから、」とするとよい。低炭素の炭素は二酸化炭素とわかるように解説もつけたい。
コンサル	燃料の炭素が二酸化炭素になることが地球温暖化の要因ということから、低炭素といわれている。燃料の低炭素化が正確である。
部会長	化石燃料ではなく、再生可能エネルギーにということである。
部会長	基本目標 3 の部分について、ご意見を。
部会長	5R のルールという部分について、一般的にはルールではないので、市独自にルールとしたことを明記されたい。
事務局	3R プラス 2R と表記したほうがよいかについても、ご意見をいただきたい。5 年後の一般廃棄物処理基本計画全面改定にも関わる可能性がある。
委員	自分が所属する団体なども 3R が一般的であるがルールとマナーは重要。ルールの部分はプラス 2 としたほうがインパクトもある。
事務局	3R を基本に、ルールとリフューズをプラス 2 とする方向で検討する。
委員	「ごみが少なく」「利用される」は他動的なので、「ごみを少なく」がよい。
部会長	基本目標 2、3 もあわせて、能動的な表現にしたほうがよい。
コンサル	「ごみを少なくし、資源を循環的に利用する」となるか。
副部会長	資源は循環利用し、残ったごみは少なくするということか。
コンサル	考え方としては、3R のうちまずはごみの発生抑制が重要とされる。
委員	リサイクルは必ずしも省エネではない。
委員	循環的利用よりも、有効利用としたほうがわかりやすい。
部会長	1 は自然のことなので「育まれる」でよい。2 は「太陽の力を活用する」、3 は「資源を有効利用する」ならいいのではないか。
コンサル	行政の立場で「循環」が必要ではないか。
副部会長	「資源を有効に利用する循環型のまち」はどうか。
委員	循環型社会というのは、一般の人はわかっていないと思う。循環はいらない。
事務局	できるだけ平易な言葉にしたい。循環型社会については、基本目標に使わなくても、後段でふれることになる。
事務局	行政は法律を意識しがちだが、市民にとっては有効利用のほうがなじむと感ずるので、現段階では皆様の意見を採用しておきたい。庁内で差し障りがあれば、再度ご説明する。

事務局	クリーンセンターでは、最終処分を減らすためにできるだけ資源を取り出すことが大目標なので、循環という言葉を使いたいと思われる。また、焼却から熱を取りだして利用することも循環である。
コンサル	折衷案として「資源を有効に利用する循環型のまち」でいかがか。
全員	(合意)
事務局	環境美化について、環境目標 4 ともつながる内容であるが、基本目標 3 に位置付けておいてよろしいか。
副部長	5R にルールがあるので、基本目標 3 でないと説明できない。
委員	環境美化という言い方が基本目標 4 に混同されるならば、環境美化といわなければよい。
副部長	犬ふんについてもふれてはどうか。
事務局	犬ふんのことは、市民にお願いすることとして 18 頁でふれている。
委員	ごみの出し方やカラス害も問題となっている。自治会によって対応が異なる。
副部長	除染の写真は、もう少しにぎやかなものとか、除染作業のものにできないか。除染後にこんなによくなったという比較でもよい。
委員	基本目標 4 は「きれいな」よりも「快適な」がよいと思う。
部長	方針でも「みんなが健康で快適に」とする。
委員	汚染がないことは証明できないので、意味としては安心できるということである。
委員	PM2.5 についても書いたほうがよい。放射能対策を振り返ってみても、「汚染」は重要である。
部長	基本目標 5 の部分について、ご意見を。
事務局	基本目標 5 の中で市民・事業者をお願いすることを示すように変えた。その流れがはっきり見えるよう、レイアウトは改善する余地がある。
委員	「環境配慮」を直すならば、「環境を考え実行する」ではどうか。
副部長	何を実行するのか。
委員	「あらゆる場面」は大きすぎないか。あちこちに出てくる。
部長	「環境配慮を実行する」という言い方に違和感があるのではないか。「あらゆる場面」は「日常的に」「積極的に」「環境配慮を行う」という感じではないか。
委員	「配慮するまち」はどうか。
委員	環境にまず気付くこと、問題視することが大切である。
部長	「環境保全に取り組むまち」ではどうか。「環境保全」は施策の方向にもある。
副部長	「市民・事業者が日常的、積極的に環境保全に取り組むまち」ではどうか。
委員	改善もほしい。
部長	「市民・事業者が、環境の保全と改善に取り組むまち」ではどうか。
委員	①の啓発と情報発信は同じようなこと。
事務局	情報提供の意味合いが強い。
委員	市民・事業者から市への提案、情報提供を受ける下地があったほうがよい。双方向が必要で、けっこうそういうこともやってきている。
委員	縦割りで振り回されることも多い。
副部長	①に「市民からの情報を吸い上げて活用します」を追加したらどうか。双方向のある新しい市ができる雰囲気になる。
部長	①は相互の情報提供となる。
部長	市民・事業者の皆さんができることについて、ご意見を。ここで、基本目標 5 の中に 5 がある構造になっているので、基本目標 5 に関連の部分はいらないのではないか。
副部長	あっても問題ないと思う。
委員	基本目標がくり返しでてくるようで、ここの構成が理解できない。
部長	レイアウトの工夫が必要である。「基本目標 1 についてできること」としたほうがよい。
委員	文章だと読まれないので、優先順位をつけたらどうかと前回提案したが、何をいいたいのかよくわからない。なぜ同じ項目が再度出てくるのか。

事務局	別資料に羅列したものが現計画からの抽出である。これらに優先順をつけるのがかなり難しいので、このようにしている。
副部会長	基本目標ごとに、この内容を振り分けたらわかるのではないか。
事務局	そういう方法もあって、現計画はそういう構成で羅列してあるが、あまり見やすくはない。今回は基本目標1～4に市のやることをまとめて、基本目標5に市民・事業者をお願いしたいことをまとめるようにしている。別添資料では、見開きでまとめる別バージョンを提案している。
部会長	別添のほうが、5つの見出しにポイントが絞られていてわかりやすい。(全員賛同)
副部会長	全部が見渡せる。「市民・事業者ができること」が始まるのがもっとわかるようなレイアウトに。そうでないと基本目標が繰り返されるように見える。
部会長	出前講座や飼い主のマナー向上などがなくなるのも困るので、それらは基本目標5に関連する「イベントに参加して」のものとして最後に掲載してはどうか。
事務局	アンケートの意見に対して、やってほしいことを書くという流れはどうか。
部会長	時間軸はそうだが、順を変えて重要な見出しを前にしてもよい。
事務局	検討する。
副部会長	見出しと解説で重複している部分は除いてよい。
事務局	優先順位で並べる形にはなっていないが、優先性が高いと考えられるものを選択している。その点はどうか。
副部会長	18ページのアンケート意見の最後は、「市民ルールを身につけてほしいと意見を寄せています」としてはどうか。他の市民が見ているという感じが出る。
事務局	ルールというのが、クリーンセンターの立場からごみ出しルールを指すと思われる。
副部会長	それならば、ごみ出しについてもふれてはどうか。
事務局	検討する。
部会長	ごみ処理費用の記載は、リデュースの理由がわかってよい。優先順については、大事なことがこの5つでよく出ていると思う。実際にこれらをやれば、環境保全につながる。
事務局	基本目標5のところは、別添資料のバージョンで検討する。
委員	「自然環境への興味を」の部分では、呼びかけが重要なので、「自然の四季の移り変わりを楽しむことが、」としたほうがよい。自然観察会でも時期や時間が違うと見えるものが違ってくる。移ろいを楽しむ機会が大切。
副部会長	ごみピットの写真に、助燃剤を説明する写真が加わらないか。市の炉の説明となるものがほしい。
事務局	検討する。
部会長	「まちをきれいに志隊」の写真は、清掃現場の写真のほうがよい。犬ふんのほうをおおきくしてもよい。
副部会長	犬の散歩に持ち歩くふん処理道具セットの写真でもよい。
委員	リードをつけないで犬を散歩させているのも多くて、常習者もあり、危なくて困る。

<部会の今後の日程>

4月28日(月) 13時30分～

5月26日(月) 13時30分～

<審議会の今後の日程>

5月12日(月) 15時～